

令和3年度県民総合スポーツ大会兼高等学校ソフトテニス競技新人大会東部地区予選会

男女団体 令和3年9月24日(金) [大宮第二公園]

【競技上の注意】

1. 競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って、2点先取の団体戦で行う。各マッチは7ゲームで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「赤エム」・女子「KENKO」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。両チームの挨拶終了から1分を目安として、第1対戦のペアの集合となるように対応する。またエール交換等は行わない。
- (5) ベンチは選手間の距離を確保して使用する。
- (6) プレー中はハイタッチや握手等は行わない。またマスクを着用しなくても良い。
- (7) 選手及び審判はコートから出る際には手指消毒をする。

2. 進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいチームが通路側(本部側)を使用する。
- (2) 1・2回戦はプログラムに記載されたコートで行う。それ以降は後で連絡する。試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (3) 所定のオーダー票に監督名、選手のフルネームを対戦順に記入する。オーダー交換は本部前で行う。
- (4) 1・2回戦は第3マッチまで行う。以降は2点先取とする。
- (5) 1・2回戦は1面で、それ以降は2面または3面展開で行う。
- (6) 勝者のチームは試合終了後、速やかにジャッジペーパーを本部へ提出する。

3. 審 判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。筆記用具は、各自で準備する。原則マスクを着用するが、体調不良や熱中症の危険が伴いそうな場合には着用しなくても良い。コールの声が届かないと思われる場合はサインを伴って判定する。
- (2) 試合の開始・終了時の集合は、両チーム・ペアともにネットから1mの距離をとる。(審判も準ずる)
- (3) 各コート第1試合は相互審判とし、隣り合うコートの対戦の審判を1名ずつ出して行う。第2試合以降は敗者審判とする。また敗者審判の学校の監督は、該当コートのコート主任として、コート後方で審判への助言、本部との連絡等を行う。
- (4) 審判はジャッジペーパーの各校のオーダーと選手名を確認して対戦を始める。試合終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝者にジャッジペーパーを渡す。勝者サイン及び握手は省略する。
- (5) 終了後、審判台下の除菌用品を用い、採点板やボール等の除菌を行う。

4. そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者は、会場内では必ずIDカードを着用する。団体戦では監督が1名ベンチに入り、指導・助言は監督のみが行うことができる。2面展開での監督の位置は中央とし、3面展開では監督の移動は可とする。
- (2) 応援は拍手程度とする。また部旗等の掲揚はいかなる場所も許可しない。
- (3) 公園内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (4) 会場内での指定された場所でのみ、持ち込みテントの設営を許可する。
- (5) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (6) 選手、審判、引率責任者は水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。
- (7) 自分の試合が終了したチームは、審判終了後、引率責任者へ体調報告をし、引率責任者の指示に従って速やかに帰宅する。会場内では健康観察及び事務連絡以外のミーティングは行わない。